

平成19年度

平成20年度

FD 活動報告書（部署）

FD 活動報告書（個人）

平成19年度 FD 活動報告書（部署）

部署名： 学生相談室

■ 部署企画の活動

各部署において平成19年度に実施されたFD活動（教員の資質向上のための活動、研修会、講演会など）について記入してください。件数が複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

活動名	メンタルヘルス研修会
実施年月日	平成19年7月31日
実施場所等	メディアホール
参加対象・参加人数等	全教職員
具体的内容（概略）	臨床心理士の小嶋容子先生に、「教職員のメンタルヘルス」の演題で講演をして頂いた。本校教職員に対し、自らのこころの健康状態を把握するとともに、メンタルヘルスケアの重要性を認識させ、こころの健康の保持増進を図ることが目的である。

活動名	学生の自殺予防講習会
実施年月日	平成20年2月6日
実施場所等	メディアホール
参加対象・参加人数等	全教職員
具体的内容（概略）	臨床心理士の小嶋容子先生に、「青年期の不安と相談の受け方」の演題で講演をして頂いた。教職員が学生の自殺の危険を早い段階で認知し、適切な予防措置を講ずることができるために、自殺予防について正しい知識（青少年の心理や青少年特有の心の病等についての知識を含む）を持つための研修を行うことを目的とする。

■ 他機関等の研修会・講演会等への派遣

他機関で実施された研修会や講演会へ、各部署から教員等を派遣された場合について記入してください。欄が不足する場合は追加して記入してください。

研修会名等	実施期日	実施場所	派遣教員
中国四国地区メンタルヘルス研究協議会	H.19.11.1-2	松山市総合コミュニティセンター	GE:国重教員 学生課：廣林看護師
全国大学メンタルヘルス研究会	H.20.1.19-20	東京国際交流館プラザ平成	学生課：廣林看護師
全国国立高専メンタルヘルス研究集会	H.20.1.30-31	東京オリンピック記念青少年総合センター	校長、 学生課：松尾看護師

平成20年度 FD 活動報告書（部署）

部署名： 全校

■ 部署企画の活動

各部署において平成20年度に実施されたFD活動（教員の資質向上のための活動、研修会、講演会など）について記入してください。件数が複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

活動名	安心安全の日講演会 「インターネット上の犯罪トラブルにあわないために」
実施年月日	H20.9.18
実施場所等	メディアホール
参加対象・参加人数等	全教職員 69名（教員51名、職員18名）
具体的内容（概略）	学校における安全管理意識を啓発することを目的として、サイバー犯罪の現状と被害防止に関する講演会を実施。 （講師：山口県警察本部 生活安全企画課 三浦 展裕）

活動名	教員研修会 「クラブ指導と安全管理」
実施年月日	H20.12.1
実施場所等	メディアホール
参加対象・参加人数等	全教職員 61名（教員52名、職員9名）
具体的内容（概略）	豊田高専での豊富な経験や指導方針等をもとに、クラブ活動の指導方法や安全性確保の重要性とその体制のあり方などについて講演いただいた。大変重要な内容であり、意義深い研修会となった。 （講師：豊田高専 建築学科准教授 竹下 純治）

活動名	エイズに関する研修会 「エイズ・性感染症の予防について」
実施年月日	H20.12.11
実施場所等	メディアホール
参加対象・参加人数等	学生、教職員 130名（学生120、教職員10名）
具体的内容（概略）	エイズをはじめとした性感染症に関する正しい知識を習得させ、健康教育の充実を図るための講演会を実施。 （講師：周南市健康福祉センター 健康増進課 横田 恵）

平成20年度 FD 活動報告書（部署）

部署名： 学生相談室

■ 部署企画の活動

各部署において平成20年度に実施されたFD活動（教員の資質向上のための活動、研修会、講演会など）について記入してください。件数が複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

活動名	発達障害に関する研修会
実施年月日	平成20年7月31日
実施場所等	メディアホール
参加対象・参加人数等	全教職員
具体的内容（概略）	土生クリニックに勤務され、周南市中学校カウンセラーでもある高橋亜希子先生に、「発達障害の理解と学校生活における支援のあり方について」の演題で講演をして頂いた。

■ 他機関等の研修会・講演会等への派遣

他機関で実施された研修会や講演会へ、各部署から教員等を派遣された場合について記入してください。欄が不足する場合は追加して記入してください。

研修会名等	実施期日	実施場所	派遣教員
全国メンタルヘルス研究協議会	H.20.9.18-19	東京オリンピック記念青少年総合センター	ME：桜本教員
発達障害のある学生支援研修会	H.20.10.21	広島国際会議場	学生課：吉本看護師
全国国立高専メンタルヘルス研究集会	H.21.1.29-30	東京オリンピック記念青少年総合センター	校長、IE:義永教員

平成20年度 FD 活動報告書（部署）

部署名： 総合企画室

■ 部署企画の活動

各部署において平成21年度に実施されたFD活動（教員の資質向上のための活動、研修会、講演会など）について記入してください。件数が複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

活動名	3高専連携事業（「大島丸」を利用した体験航海）
実施年月日	平成21年2月28日、3月1日
実施場所等	大島丸棧橋から愛媛県松山市（道後温泉）往復
参加対象・参加人数等	希望教職員 ・ 6名
具体的内容（概略）	山口県内3高専連携事業の一環として、大型マン・マシンシステムである練習船「大島丸」で瀬戸内海を航海し、海や船を使った教育・研究シーズを探る。

活動名	現代GP評価会議およびフォーラム
実施年月日	平成21年3月19日
実施場所等	ホテル サンルート
参加対象・参加人数等	評価会議 教員・顧問・学生 約20名 フォーラム 全教員・学外 約85名
具体的内容（概略）	平成18年度に文部科学省が大学等の教育改革に重点的に支援を行う「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に応募し、「まちなかサテライトを活用した創造教育」と「自主自立誘導型キャリア教育システム」の2件が採択された。 3年間の取り組みの成果を報告し、今後の教育改善に繋げることを目的とした。

平成20年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 森崎 哲也

平成21年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	長岡技術科学大学 教員交流研究集会
関連部署	機械電気工学科
実施年月日	平成20年7月25日～26日
実施場所等	長岡技術科学大学
参加対象・参加人数等	高専教員48人、長岡技術科学大学教員40人、その他1人
具体的内容 (概略)	<p>「高専専攻科の現状と学生の進路」をテーマに2日間にわたって、以下の講演等がおこなれた。</p> <p>① 基調講演① ◆宮崎和光（大学評価・学位授与機構 学位審査研究部）「大学評価・学位授与機構における学位授与事業のための科目分類支援システムの試作」</p> <p>② 基調講演② ◆柴田尚志（茨城高専副校長）「時代に適応した教育システム構築への取り組み」</p> <p>③ パネルディスカッション「高専専攻科の現状と今後の展開」 パネラー：◆河野顕臣（石川高専教授）◆河田剛毅（長岡高専教授）◆橋村真治（久留米高専准教授）◆宮崎忠（長野高専准教授）◆東信彦（長岡技大教授）、◆鎌土重晴（長岡技大教授）</p> <p>④ 地域に根付いた産業とそれらを活用した設計教育の事例報告</p> <p>⑤ 岩本達也（有明高専講師）と◆阿部雅二郎（長岡技大准教授）</p>

平成20年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 池田 信彦

平成21年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	高専機構教員研修（管理職研修）
関連部署	
実施年月日	平成20年8月20日～22日
実施場所等	教員研修センター
参加対象・ 参加人数等	各高等専門学校での管理運営、教育研究活動において中核的役割を担う教員・ 55名程度
具体的内容 (概略)	<p>3日間にわたって、次の講義が実施された。</p> <p>⑥ 学校経営（高専機構 四ツ柳顧問） 学校を経営するという観点からの高専のあり方についての講義。「ものづくりによる人づくり」などのキーワードが述べられた。</p> <p>⑦ 青年の心理と学生理解（放送大学 岩永教授） 「規範」の観点から現代の青少年をどう捉え、どう理解し、どう向き合えばよいかについて述べられた。</p> <p>⑧ コーチング（大分県消費生活・男女共同参画プラザ 佐藤主幹） コーチングの定義、「きく」ことの重要性が述べられた。</p> <p>⑨ 危機管理（PRRM コンサルティンググループ 伊藤代表） 平常時から全員が危機管理の「心」をもつことが基本であること、平常時の危機管理は「風通しの良い職場づくり」が鍵であることなどが述べられた。</p> <p>⑩ 学校経営上の法的諸問題（日本女子大学 坂田准教授） 開かれた学校づくりのためのアカウントビリティ(説明責任)、学校・教員のコンプライアンス（法令遵守）の意識向上の重要性が述べられた。</p> <p>初めて聞くような話やそれほど意識していなかった事項なども多く、有意義な研修であった。</p> <p>■ 資料：有</p>